



RAKUWA
lecture of health

第116回 らくわ健康教室

2012年9月20日



“とこずれ”なにそれ?

～ 病^{じょく}気を知^そって褥^{じょく}瘡^{そう}をなおそう ～

洛和会音羽病院 形成外科 よし ほん まきのぶ 吉原 正宣



子どもたちのために、未来へ…

洛和会ヘルスケアシステム®

洛和会丸太町病院 洛和会音羽病院
洛和会音羽記念病院 洛和会みささぎ病院



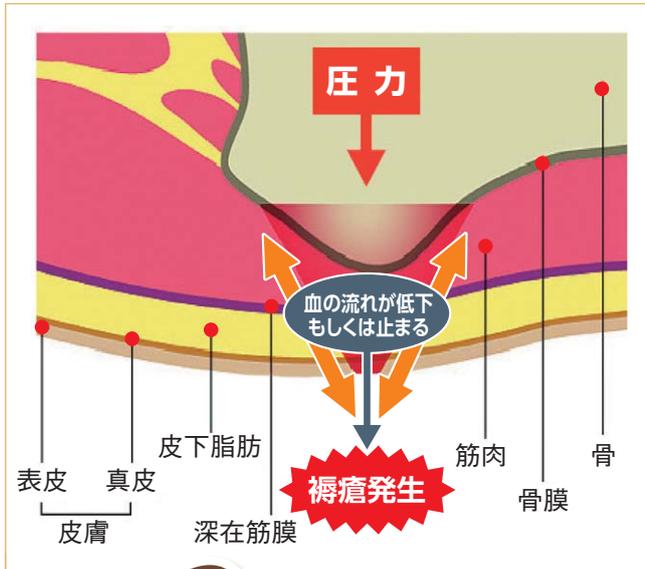
“とこずれ”なにそれ? ~ 病気を^{じょくそう}知って褥瘡をなおそう ~

“とこずれ”と褥瘡^{じょくそう}は、同じことを指しています。とこずれは一般的な名称で、褥瘡は病名です。

広辞苑によれば、褥瘡とは「^{えそ}圧迫性壊疽の一種。体力の衰えた患者が長期間病床にある場合に、衣類・寝具によって圧迫を受ける部位に生じる」ものです。

褥瘡発生メカニズム

体に加わった外からの力によって、皮膚と骨の間の柔らかい組織の血の流れが低下したり、止まったりします。この状態が一定時間を超えると、組織は死んでしまい、褥瘡が発生します。



褥瘡ができるそのほかの要因



褥瘡が発生しやすいのは、寝たきりや、手術の後、特殊な病気にかかっているなど、自力での体位変換が困難な状態にあるときです。

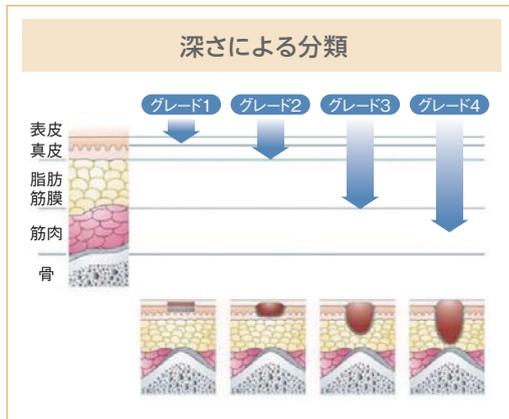
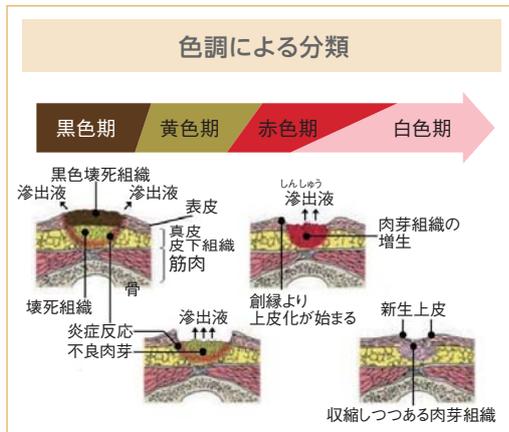
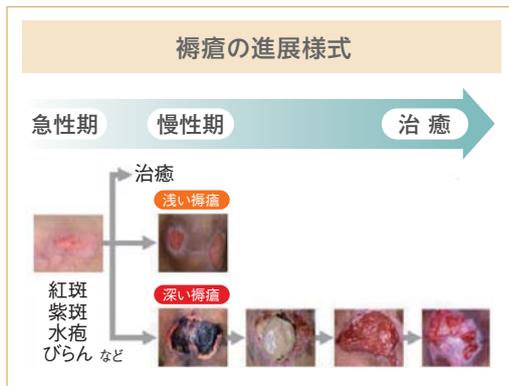
褥瘡ができる場所として多いのは、尾てい骨のように骨が突き出しているところで、圧力やずれ、摩擦が原因で発生します。





褥瘡の重傷度の分類

褥瘡の重傷度の順に、黒色期、黄色期、赤色期、白色期と、色調によって分類されます。また、傷の深度が深い順に、グレード4～1に分類されます。



褥瘡予防について

褥瘡にならないための予防として、次の対策が挙げられます。

- 1 体にかかる圧力やずれを少なくする
- 2 浮腫（むくみ）や失禁、汗などに対するスキンケア
- 3 体に必要な栄養素・量を算出するなど、栄養状態の観察
- 4 関節が固まらないためのリハビリテーション
- 5 患者さま、ご家族の知識や実践力など、介護力のアップ

〈皮膚の観察方法〉

褥瘡予防のためには、皮膚の観察が重要です。

皮膚に発赤がある部分 ➡ 3秒圧迫 ➡
発赤が残る ➡ 褥瘡発症が疑われます

体にかかる圧力やずれを少なくするためには、体の向きや姿勢などを変えたり、体表面に加わる圧力を分散させたりする必要があります。

ポジショニングには、30度側臥位、60度側臥位、完全側臥位（90度側臥位）などがあります。

体の位置を保つために、さまざまな素材や形のクッションや、体にかかる圧力を分散させるマットレスなどもあるので、参考にしてください。

傷の治し方

傷ができると、傷を治そうとする成分が出てきます。その後・・・

× そのまま乾燥させる ▶ 乾燥によって表皮の再生が起こりにくい

× 消毒する ▶ ばい菌と共に、傷を治そうとする細胞成長因子も死滅させてしまう

× ガーゼを乗せる ▶ ガーゼの交換時に、治りかけた傷を再び傷めてしまう

○ 創傷被覆材(ドレッシング材)を貼る ▶ 傷を治そうとする細胞成長因子が活動しやすい

以上から、

- 傷は消毒しないと化膿する
- 傷は乾燥させる（濡らしてはいけない）
- かさぶたができるのは傷が治りかけている証拠

× すべて間違いです！

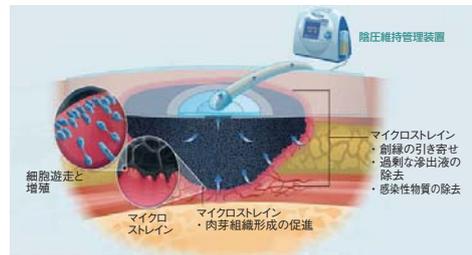
褥瘡の治療

褥瘡の治療には、褥瘡部分全体をドレッシング材で覆い、圧力を軽減することで治療する「陰圧療法」や外科的な手術を行う「外科的治療」があります。

褥瘡の治療（陰圧療法）

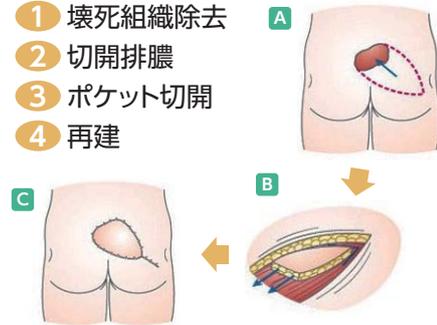
創面全体をドレッシング材で覆い、陰圧に保つ

- 1 滲出液や感染物の除去
- 2 肉芽形成の促進
- 3 血流量増加



褥瘡の外科的治療

- 1 壊死組織除去
- 2 切開排膿
- 3 ポケット切開
- 4 再建



- A 図のように褥瘡を切除して隣接する部分にV字型の皮弁を作成する
- B 血流が保たれた状態で、欠損を覆うように皮弁をずらす(筋皮弁術、穿通枝皮弁術)
- C Y字型に縫いあがった状態

